

ツアーガイドの大きな声が静かな海岸に響ひびいた。

ツアーガイドの後ろにほっそりとした女性が立っていた。薔薇色の頬ほらいろに、優美な眉ほほ、透き通った瞳と、その姿はまるで海から現れた精霊せいれいのようだった。その人は淡い水色みずいろの花柄はながらが散りばめられたドレスをまとい、瑠璃色るりいろのハイヒールを履はいていた。ビーチの石段いしだんへ向かって歩く足取りあしどは軽く、後から灰かすかな花の香りが広がる。そして潮風しおかぜに靡なびいた長くしなやかな黒髪くろかみを手で軽く直した。彼女はセレナだ。

セレナはかつて住んでいた場所をツアーガイドと共に訪れた。目の前に広がる景色は新

